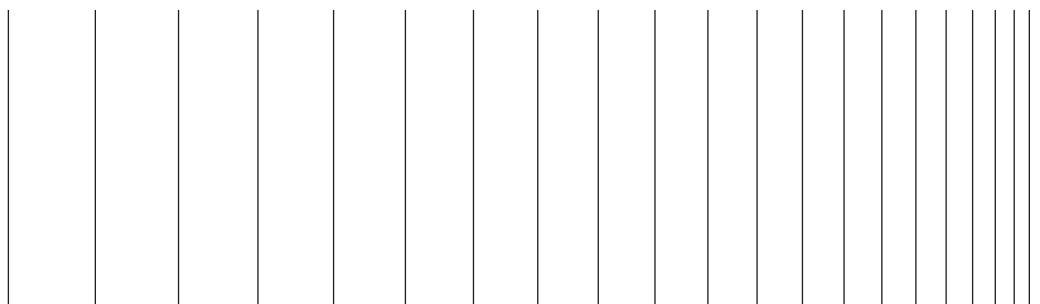




日立産業用コンピュータ

HF-W7500モデル30

セットアップガイド
(Windows® 7編)

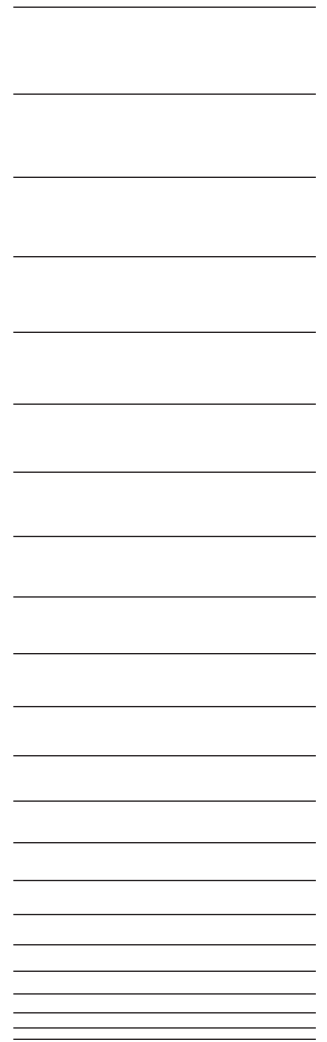


ユーザーズ
マニュアル

日立産業用コンピュータ

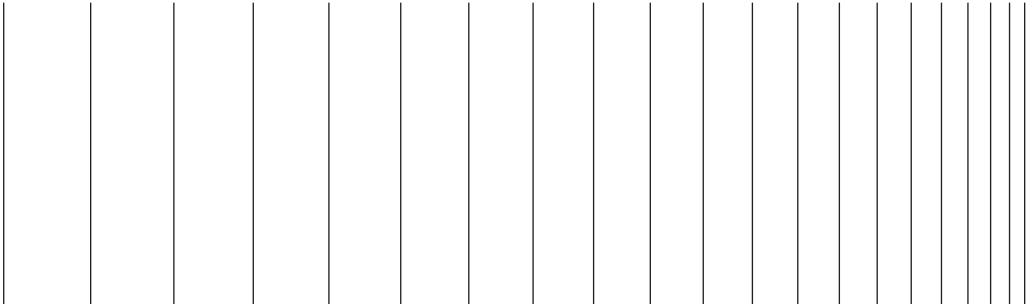
HF-W7500モデル30

セットアップガイド
(Windows® 7編)



マニュアルはよく読み、保管してください。

- ・ 操作を行う前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
- ・ このマニュアルは、いつでも参照できるように、手近なところに保管してください。



ユーザーズ
マニュアル

この製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

2011年 4月 (第1版) WIN-3-0083 (廃版)
2011年 7月 (第2版) WIN-3-0083-01 (廃版)
2015年 4月 (第3版) WIN-3-0083-02

- このマニュアルの一部または全部を無断で転写したり複製したりすることは、固くお断りいたします。
- このマニュアルの内容を、改良のため予告なしに変更することがあります。



安全にお取り扱いいただくために

装置を操作する前に、以下に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- 装置の操作は、このマニュアル内の指示、手順に従ってください。
- 装置やマニュアルに表示されている安全に関する注意事項は特に注意を払い、必ず守ってください。
これを怠ると、人身上の傷害や装置を含む財産の破損を引き起こす恐れがあります。
- 安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって表示されます。これは安全警告記号と「危険」、「警告」、「注意」、および「通知」という見出し語を組み合わせたものです。



これは安全警告記号です。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用いられます。起こりうる傷害または死を回避するために、このシンボルの後に続く安全に関するメッセージに従ってください。



危険：死亡または重大な傷害を引き起こす可能性が高い差し迫った危険の存在を示すのに用いられます。



警告：死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。



注意：軽度の傷害または中程度の傷害を引き起こす恐れのある潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。

通知：これは、装置の重大な損傷または周囲の財物の損害（データの喪失を含む）を引き起こす恐れのある潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。また、使用上のアドバイスに用いられます。

なお、「留意事項」という見出し語は、人身の安全と直接関係しない注意書きを示すのに用いられます。

- マニュアルに記載されている以外の操作は行わないでください。装置について何か問題がある場合は、保守員をお呼びください。
- 装置を操作する前に、このマニュアルをよく読み、書かれている指示や注意を十分に理解してください。
- このマニュアルは、必要なときすぐ参照できるように、使いやすい場所に保管してください。
- 装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分に検討されたものでありますが、それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。



安全にお取り扱いいただくために（続き）

1. 共通的な注意事項

以下に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

1. 1 警告または 注意

- この装置は、人命に直接関わる安全性を要求されるシステムに適用する目的で製造されたものではありません。このような用途に使用する可能性がある場合には、弊社営業窓口へ相談してください。
- 万一、発煙・異臭などがあった場合は、装置背面の主電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いて、お買い求め先または保守員に連絡してください。故障状態のままお使いになると火災や感電の原因になります。
- この装置の前面および背面には、吸排気孔のためのスペースを必ず確保してください。温度上昇による故障または短寿命の原因になります。また、保守作業のための保守スペースが必要です。
- この装置は磁気ディスク装置を内蔵していますので、打撃、衝撃、振動を与えないよう取り扱いってください。万一、この装置を落したりケースを破損したりした場合は、装置背面の主電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いて、保守員に連絡してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。また、開梱時および持ち運ぶときは衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
梱包状態または開梱時の移動には、指をはさんだり、ぶついたりしないように注意してください。
- この装置が万一故障したり誤動作やプログラムに欠陥があったりした場合でも、ご使用されるシステムの安全が十分に確保されるよう、保護・安全回路は外部に設け、人身事故・重大な災害に対する安全対策などが十分確保できるようなシステム設計としてください。



安全にお取り扱いいただくために（続き）

1. 2 通知

- 弊社（情報制御システム社）指定の基本ソフトウェアを使用してください。それ以外の基本ソフトウェアを使用した場合の動作は、保証できません。
- この装置の設置環境は一般事務室レベルです。じんあいの多い所や、腐食性ガスのある環境での使用は避けてください。故障の原因になります。
- 非常遮断（シャットダウンしないで、いきなり電源を切ったり、ブレーカを切ったりすること）をすると、処理プログラムによってはジャーナル情報の消失によってシステムプログラムの再ローディングが必要になることがあります。何らかの異常が発生し緊急に遮断しなければならないとき以外は、絶対に実施しないでください。
- 電源の供給元で電源を遮断した場合、システムを自動で復旧できないことがありますので、注意してください。
- ディスクへのアクセス終了後は、ディスクをDVDドライブから取り出してください。
ディスクをDVDドライブ内へ放置したままにすると、障害の原因となります。
- ディスクトレイを出したままにしておくと障害の原因となります。
使わないときは、ディスクトレイをDVDドライブに収納しておいてください。



安全にお取り扱いいただくために (続き)

2. このマニュアル内の警告表示

2. 1 「通知」と表示されているもの

- この装置は、障害の種類によって大切なファイルを消失することがあります。また、装置の障害だけでなく、使用中の停電、誤操作などによってファイルを消失することがあります。このような状態になった場合には、ファイルの回復はできません。そのような事態に備えて日常業務の中にファイルのセーブ作業を組み入れ、計画的にファイルのバックアップを取っておいてください。

(iページ)

- リカバリDVD-ROMは、出荷時のハードウェア構成で作成したイメージファイルを保存したDVD-ROMです。そのため、ハードウェア構成が出荷時と異なる場合、復元作業を行ってもオペレーティングシステムが正常に起動しない可能性があります。リカバリDVD-ROMを使用した復元は、外部記憶装置をすべて取り外し、出荷時のハードウェア構成で行ってください。

また、リカバリDVD-ROMを使用した場合にはシステムディスクのすべてのデータが消去されますので、必要に応じて事前にバックアップを行ってください。

(3-1ページ)

はじめに

このマニュアルは、日立産業用コンピュータHF-W7500モデル30（Windows® 7モデル）のセットアップ手順について記述したものです。

このマニュアルは、次のような構成となっています。

- 第1章 初めて電源を投入した際のセットアップ手順
- 第2章 Windows XP Modeを導入する場合のセットアップ手順
- 第3章 新たにシステムを構築する場合の新規セットアップ手順
- 第4章 注意事項

通 知

この装置は、障害の種類によって大切なファイルを消失することがあります。また、装置の障害だけでなく、使用中の停電、誤操作などによってファイルを消失することがあります。このような状態になった場合には、ファイルの回復はできません。そのような事態に備えて日常業務の中にファイルのセーブ作業を組み入れ、計画的にファイルのバックアップを取っておいてください。


<記憶容量の計算値についての注意>

- 2ⁿ計算値の場合（メモリ容量・所要量、ファイル容量・所要量など）
 - 1KB（キロバイト）＝1,024バイトの計算値です。
 - 1MB（メガバイト）＝1,048,576バイトの計算値です。
 - 1GB（ギガバイト）＝1,073,741,824バイトの計算値です。
- 10ⁿ計算値の場合（ディスク容量など）
 - 1KB（キロバイト）＝1,000バイトの計算値です。
 - 1MB（メガバイト）＝1,000²バイトの計算値です。
 - 1GB（ギガバイト）＝1,000³バイトの計算値です。

<商標について>

- ・ Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ 上記以外にこのマニュアルに記載されている他社製品名（ソフトウェア、ハードウェア）は、各社の登録商標、商標、または商品です。

目次

 安全にお取り扱いいただくために	S-1
第1章 初めて電源を投入した際のセットアップ手順	1-1
1. 1 セットアップ手順の概要	1-2
1. 2 セットアップの準備	1-3
1. 3 Windows® 7 Professionalのセットアップ	1-4
1. 4 画面の設定	1-5
1. 5 自動更新の設定	1-11
1. 6 ネットワーク環境の設定	1-13
1. 7 ハードディスクの空き領域のフォーマット	1-18
第2章 Windows XP Modeを導入する場合のセットアップ手順	2-1
2. 1 セットアップ手順の概要	2-2
2. 2 Windows XP Modeのインストール	2-3
2. 3 Windows Virtual PCのインストール	2-4
2. 4 Windows XP Modeのセットアップの準備	2-7
2. 5 Windows XP Modeのセットアップ	2-8
2. 6 Windows XP ModeおよびWindows Virtual PCのアンインストール	2-11
第3章 新たにシステムを構築する場合の新規セットアップ手順	3-1
3. 1 新規セットアップ手順の概要	3-1
3. 2 セットアップの準備	3-3
3. 3 システムディスクの出荷状態への復元	3-4
3. 4 Windows® 7 Professional、画面の設定などの各種セットアップ	3-8
第4章 注意事項	4-1
4. 1 第3者ブランド名での製品出荷について	4-1

第1章 初めて電源を投入した際のセットアップ手順

この章では、以下のセットアップ手順について説明します。

- HF-Wを購入して初めて電源を投入した場合のセットアップ手順

留意事項

このマニュアルで使用する用語について、以下のとおり定義します。

セットアップ：ソフトウェアがコンピュータで使用できるように環境を設定することです。

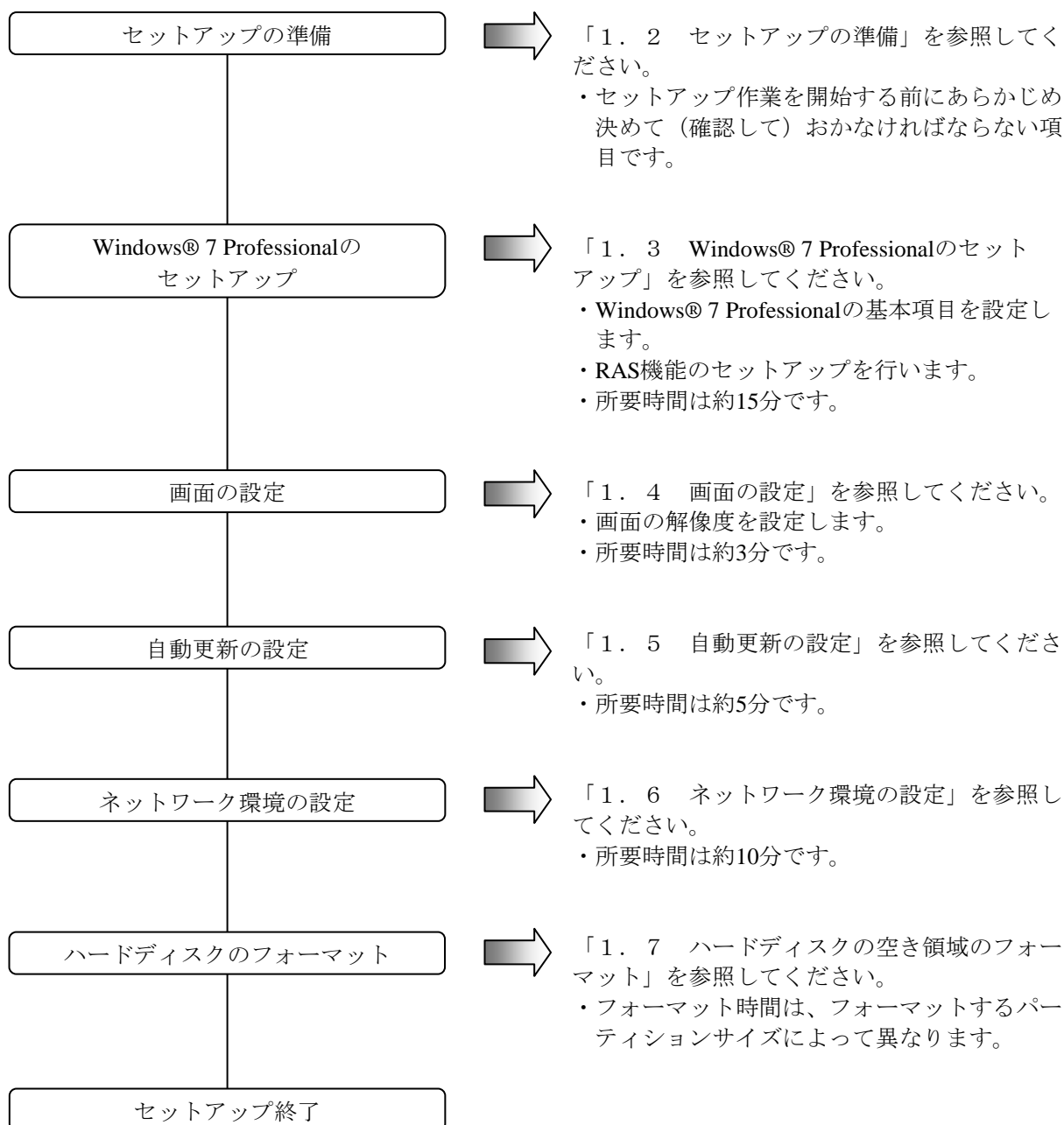
インストール：ソフトウェアをDVD-ROM、CD-ROM、フロッピーディスクからコンピュータのハードディスクに組み込むことです。

1. 1 セットアップ手順の概要

以下に、プレインストールされたMicrosoft® Windows® 7 Professionalのセットアップ手順を示します。

HF-Wに同梱のDVD-ROMを使用した新規セットアップ手順については、「第3章 新たにシステムを構築する場合の新規セットアップ手順」を参照してください。

以下に設定の概略フローを示します。



1. 2 セットアップの準備

下記の項目は、セットアップ作業中に必要となる項目です。セットアップ作業を開始する前にあらかじめ決めて（確認して）おいてください。

項目	内容
ライセンス証書	HF-W本体にライセンス証書が貼り付いていることを確認してください。
ユーザー名	コンピュータの管理者アカウントのユーザー名 設定後に変更できます。
パスワード	ユーザー名のパスワード 設定後に変更できます。
コンピュータ名称	ネットワークでコンピュータを識別するための名称 ・ネットワーク内でコンピュータを識別するための名称です。ネットワークで固有な名称にしてください。 設定後に変更できます。
ネットワークアドレス	IPアドレスおよびサブネットマスク 設定後に変更できます。

1. 3 Windows® 7 Professionalのセットアップ

Microsoft® Windows® 7 Professionalをセットアップします。

(1) 基本環境の設定

以下の手順で基本環境を設定してください。

① コンピュータの電源を入れます。

「サービスを開始しています。」のメッセージが表示されます。その後、自動的に再起動されます。

再起動後しばらくすると、Windows® 7 Professionalのセットアップ画面が表示されます。

② ユーザー名の入力画面が表示されます。

- ・ユーザー名を入力して [次へ] ボタンをクリックします。

③ パスワードの入力画面が表示されます。

- ・ [パスワードを入力してください] および [パスワードをもう一度入力してください] にパスワードを入力します。

- ・ [パスワードのヒントを入力してください] にパスワードのヒントを入力します。

- ・ [次へ] ボタンをクリックします。

④ ライセンス契約画面が表示されます。

- ・ 表示内容を確認し、「ライセンス条項に同意します」チェックボックスをオンにします。

- ・ [次へ] ボタンをクリックします。

⑤ Windowsを自動的に保護する設定画面が表示されます。

- ・ [後で確認します] ボタンをクリックします。

⑥ 日付と時刻の設定画面が表示されます。

- ・ タイムゾーンおよび日付と時刻を設定します。

- ・ [次へ] ボタンをクリックします。

⑦ セットアップが完了後、自動的にログオンします。

留意事項

この装置では、確実な障害解析を行うために、システムエラー（ブルースクリーン）発生時に完全メモリダンプを収集するように設定しています。

この設定は、システムの再起動後に有効になります。

1. 4 画面の設定

内蔵ビデオを使用する場合は、「(1) 内蔵ビデオの画面設定」を実施してください。このとき、デスクトップ上に表示されている [Option_Video_SETUP] アイコンは必要ありませんので、削除してください。オプションビデオボードを使用する場合は、「(2) オプションビデオボード選択時の画面設定」を実施してください。

(1) 内蔵ビデオの画面設定

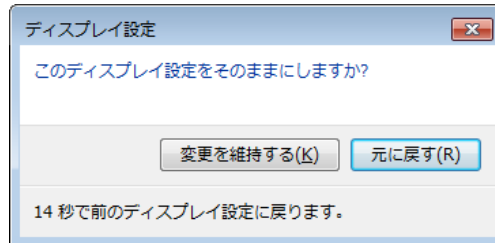
- ① コンピュータの管理者アカウントでログオンしていない場合には、コンピュータの管理者アカウントでログオンします。
- ② デスクトップ上で右クリックしてポップアップメニューを表示し、[画面の解像度] をクリックします。
- ③ [画面の解像度] 画面が表示されます。



- ④ 画面の解像度を設定し、[OK] ボタンをクリックします。



- ⑤ [ディスプレイ設定] 画面が表示されますので、この設定を保存する場合には [変更を維持する] ボタンをクリックしてください。設定しない場合には [元に戻す] ボタンをクリックして再度設定してください。

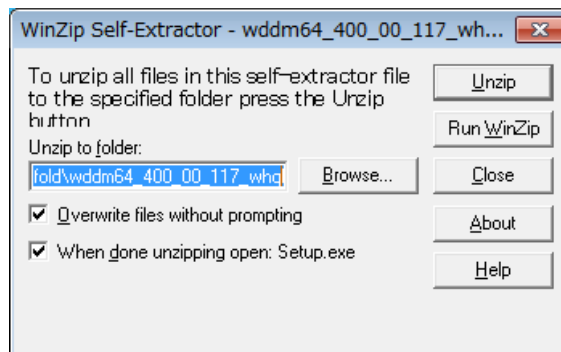


(2) オプションビデオボード選択時の画面設定

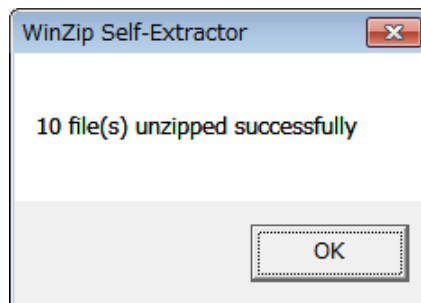
- ① デスクトップ上に表示されている [Option_Video_SETUP] アイコンをダブルクリックします。



- ② 以下の画面が表示されますので、[Unzip] ボタンをクリックします。

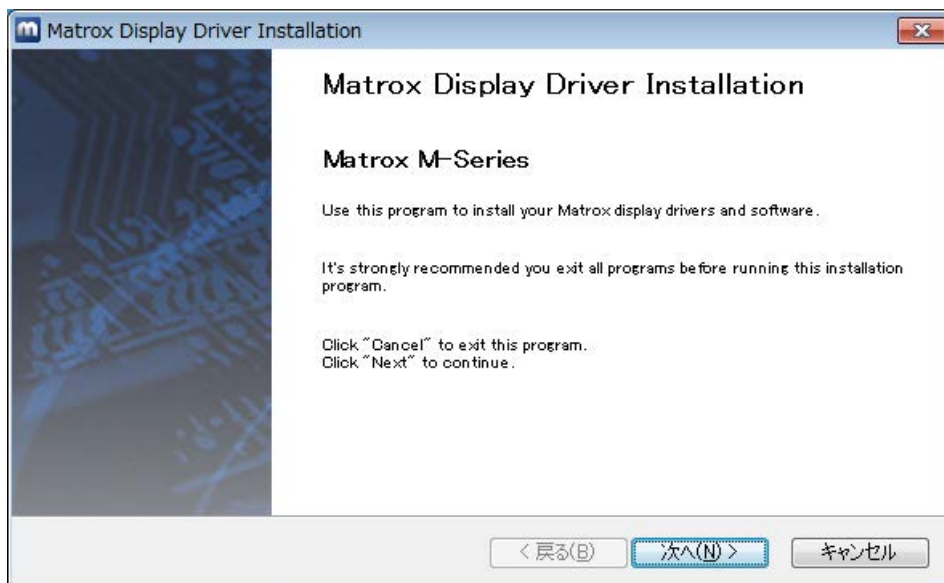


- ③ 以下の画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



- ④ [ユーザーアカウント制御] 画面が表示される場合は、[はい] ボタンをクリックします。

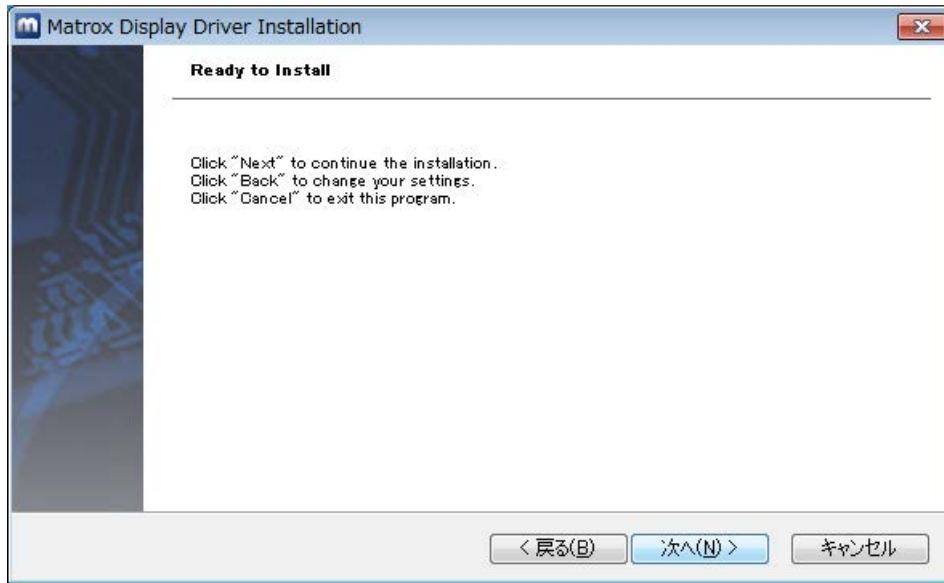
- ⑤ 「Matrox Display Driver Installation」画面が表示されますので、「次へ」ボタンをクリックします。



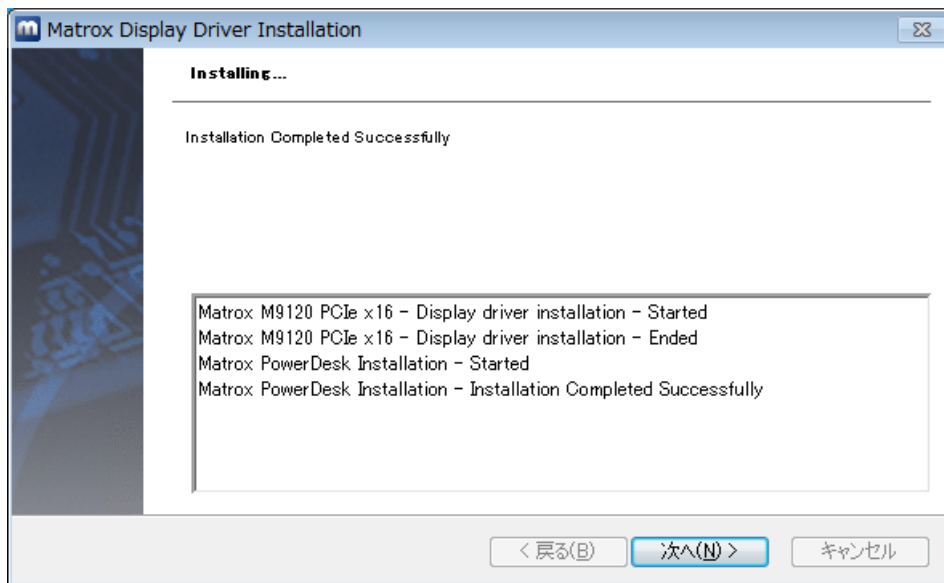
- ⑥ 「Matrox Display Driver Selection」画面が表示されますので、「次へ」ボタンをクリックします。



- ⑦ 「Ready to Install」画面が表示されますので、[次へ] ボタンをクリックします。



- ⑧ 「Installation Completed Successfully」画面が表示されましたら、[次へ] ボタンをクリックします。



- ⑨ 再起動を促す画面が表示されますので、**[完了] ボタン**をクリックして再起動してください。再起動後の画面の設定については、「日立産業用コンピュータ HF-W7500モデル30 取扱説明書（マニュアル番号 WIN-2-0059）」の「3. 12 オプションビデオボード選択時の画面の設定方法」を参照してください。



1. 5 自動更新の設定

Windows® 7には、不具合修正モジュールの自動更新機能が備わっています。これは、マイクロソフト社のWebサイトに不具合修正モジュールが公開された場合、それを自動でダウンロードおよびインストールする機能です。

ただし、この機能が動作することによって実行中のアプリケーションに影響を与えることがあります。また、自動更新した修正モジュールが実行中のプログラムに影響を与える恐れもあります。したがって、この機能は“無効”にしてください。

以下に自動更新機能を無効にするための設定手順を示します。

- ① コンピュータの管理者アカウントでログオンしていない場合には、コンピュータの管理者アカウントでログオンします。
- ② [スタート] ボタンをクリックし、[コントロール パネル] をクリックします。
- ③ [コントロール パネル] 画面が表示されますので、[システムとセキュリティ] をクリックします。
- ④ Windows Updateの [自動更新の有効化または無効化] をクリックします。



- ⑤ 更新プログラムをインストールする方法を選択する画面が表示されますので、「更新プログラムを確認しない(推奨されません)」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



- ⑥ [システムとセキュリティ] 画面の [×] ボタンをクリックします。

1. 6 ネットワーク環境の設定

ローカルエリアネットワークの設定は、デフォルトではDHCPを使用する設定（「IPアドレスを自動的に取得する」）になっています。DHCPを使用しないでIPアドレスを設定する場合には、「（1）ネットワーク環境の設定」の手順で設定してください。

なお、ここで説明するのはインターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）を使用する場合の手順です。インターネットプロトコルバージョン6（TCP/IPv6）を使用する場合は、手順⑧で「インターネットプロトコルバージョン6（TCP/IPv6）」を選択して設定してください。

また、オプションの2ch LANボード（HJ-7617-41）を使用する場合は、「（2）2ch LANボードの設定」も実施してください。

（1）ネットワーク環境の設定

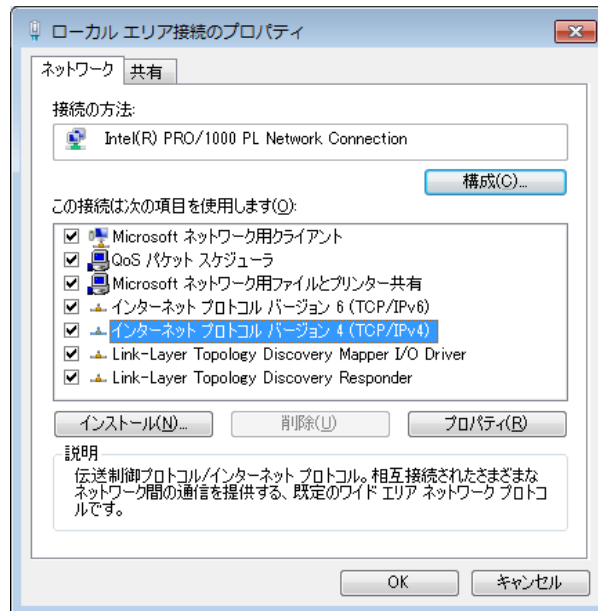
- ① コンピュータの管理者アカウントでログオンしていない場合には、コンピュータの管理者アカウントでログオンします。
- ② **【スタート】ボタン**をクリックし、**【コントロール パネル】**をクリックします。
- ③ ネットワークとインターネットの**【ネットワークの状態とタスクの表示】**をクリックします。
- ④ ネットワークと共有センターが表示されますので、左の項目から**【アダプターの設定の変更】**をクリックします。
- ⑤ **【ネットワーク接続】画面**が表示されます。
- ⑥ **【ローカルエリア接続】アイコン**をダブルクリックします。
- ⑦ **【ユーザーアカウント制御】画面**が表示される場合は、**【はい】ボタン**をクリックします。

留意事項

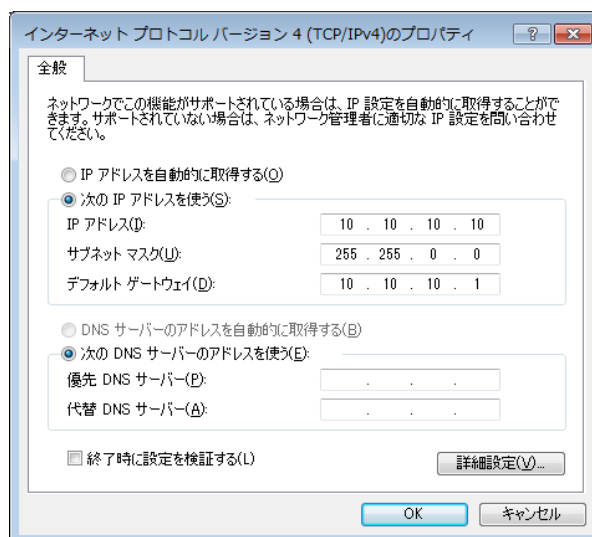
【ローカルエリアの接続】アイコンが複数ある場合には、以下の手順でアイコンとイーサアダプタのポートを対応付けてください。

- ・ **【ローカルエリア接続】アイコン**をダブルクリックし、**【ローカルエリア接続のプロパティ】画面**の**【ネットワーク】タブ**をクリックします。
 - ・ **【構成】ボタン**をクリックし、**【Intel(R) PRO/1000 PL Network Connectionのプロパティ】画面**の**【リンク速度】タブ**をクリックします。
 - ・ **【アダプタの識別】ボタン**をクリックし、**【アダプタの識別】画面**の**【開始】ボタン**をクリックします。
 - ・ 選択した**【ローカルエリアの接続】アイコン**に対応したイーサアダプタのポートのLEDが点滅します。
-

- ⑧ [ローカルエリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。
- ・「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択して、[プロパティ] ボタンをクリックします。



- ⑨ [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ] 画面が表示されます。
- ・「次の IP アドレスを使う」を選択して、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。
 - ・ [OK] ボタンをクリックします。



- ⑩ [ローカルエリア接続のプロパティ] 画面の [閉じる] ボタンをクリックします。
- ⑪ [ネットワーク接続] 画面の [×] ボタンをクリックします。

(2) 2ch LANボードの設定

オプションの2ch LANボード（HJ-7617-41）を使用する場合は、以下の設定を行ってください。

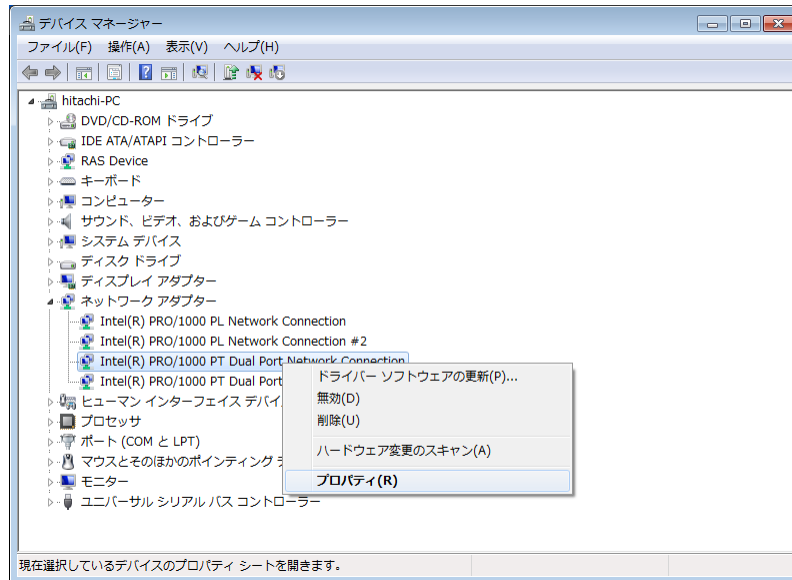
- ① コンピュータの管理者アカウントでログオンしていない場合には、コンピュータの管理者アカウントでログオンします。
- ② [スタート] ボタンをクリックし、[コントロール パネル] をクリックします。
- ③ [コントロール パネル] 画面が表示されます。
 - ・ [システムとセキュリティ] をクリックします。
 - ・ システムの [デバイス マネージャー] をクリックします。



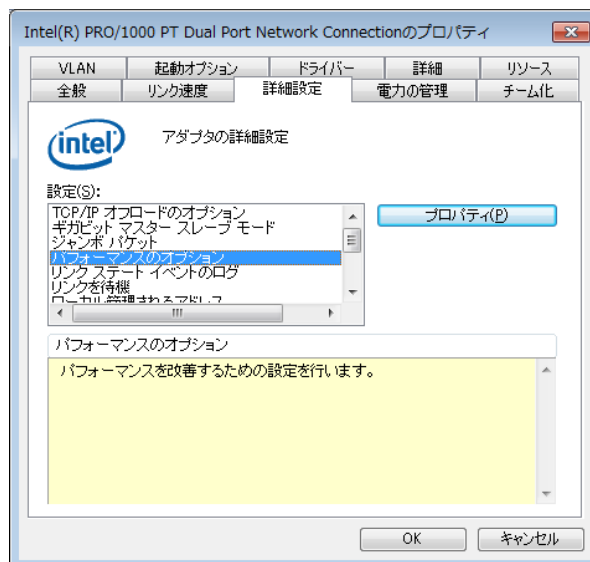
- ④ [ユーザーアカウント制御] 画面が表示される場合は、[はい] ボタンをクリックします。

第1章 初めて電源を投入した際のセットアップ手順

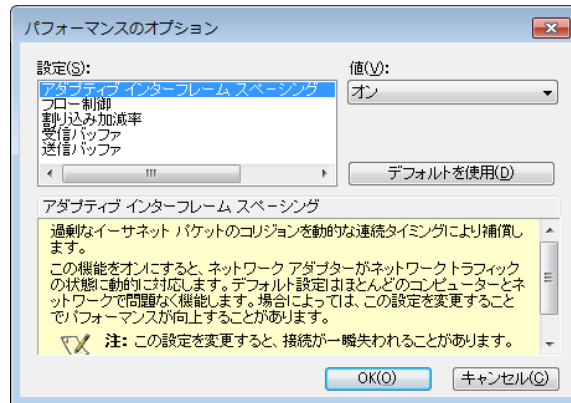
- ⑤ [デバイス マネージャー] 画面が表示されます。
- ・ [ネットワーク アダプター] をダブルクリックします。
 - ・ アダプタのリストから [Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Network Connection] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。



- ⑥ [Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Network Connectionのプロパティ] 画面が表示されます。
- ・ [詳細設定] タブをクリックします。
 - ・ [設定] から [パフォーマンスのオプション] を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。



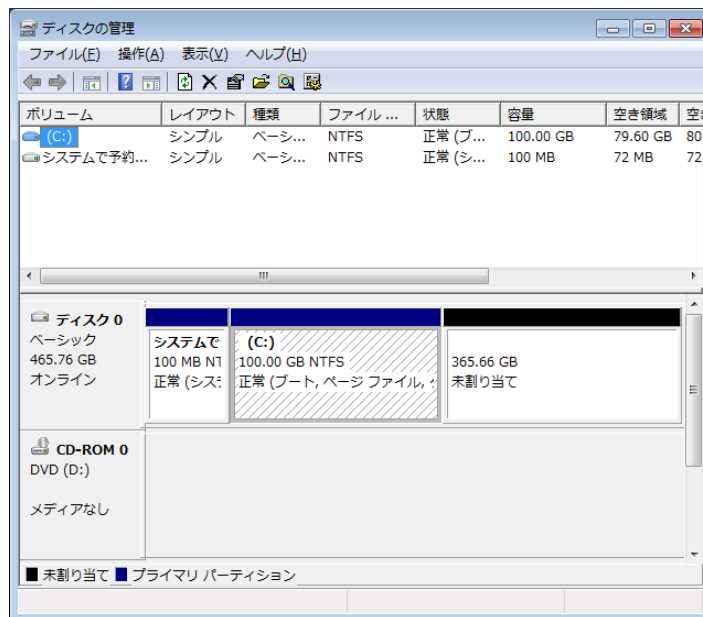
- ⑦ [パフォーマンスのオプション] 画面が表示されます。
- ・ [設定] から [アダプティブ インターフレーム スペーシング] を選択し、[値] から [オン] を選択します。
 - ・ [OK] ボタンをクリックします。



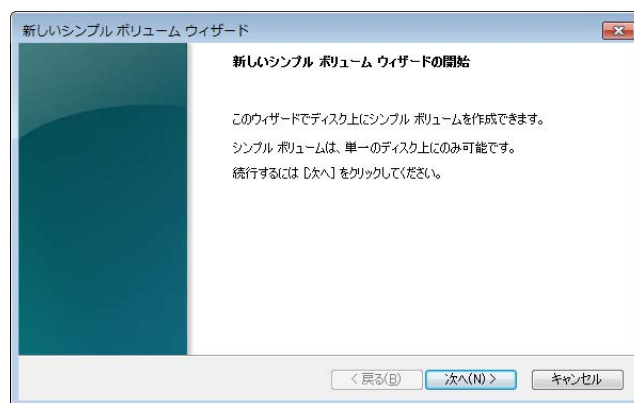
- ・ [Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Network Connectionのプロパティ] 画面の [OK] ボタンをクリックします。
- ⑧ ⑤～⑦をすべての「Intel(R) PRO/1000 PT Dual Port Network Connection」に対して実施します。
- ⑨ [デバイス マネージャー] 画面の [×] ボタンをクリックします。
- ⑩ [システムとセキュリティ] 画面の [×] ボタンをクリックします。

1. 7 ハードディスクの空き領域のフォーマット

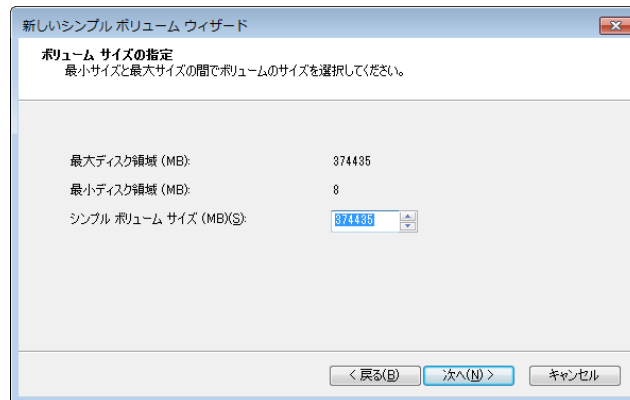
- ① コンピュータの管理者アカウントでログオンしていない場合には、コンピュータの管理者アカウントでログオンします。
- ② [スタート] ボタンをクリックし、[コントロール パネル] をクリックします。
- ③ [システムとセキュリティ] をクリックし、管理ツールの [ハードディスク パーティションの作成とフォーマット] をクリックします。
- ④ [ユーザーアカウント制御] 画面が表示される場合は、[はい] ボタンをクリックします。
- ⑤ [ディスクの管理] 画面が表示されますので、「未割り当て」と表示されている部分でマウスを右クリックし、表示されたメニューから [新しいシンプルボリューム] をクリックします。



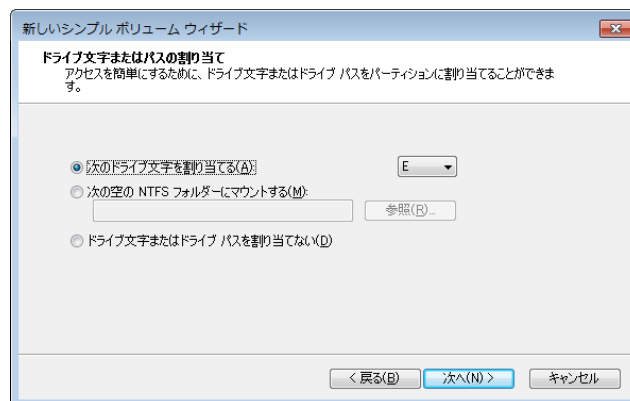
- ⑥ 新しいシンプルボリュームウィザードが起動されますので [次へ] ボタンをクリックします。



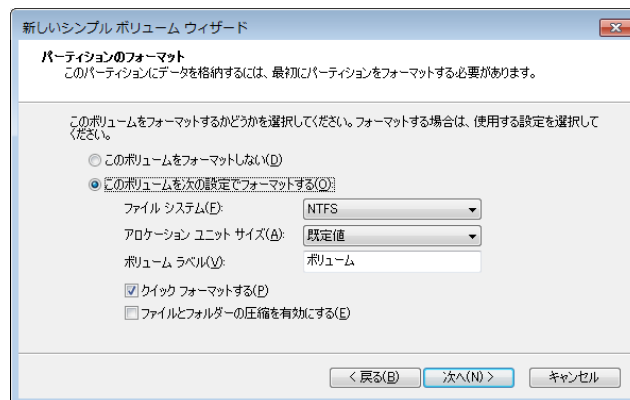
- ⑦ ボリュームのサイズを指定する画面が表示されますので、任意のボリュームサイズを指定して [次へ] ボタンをクリックします。



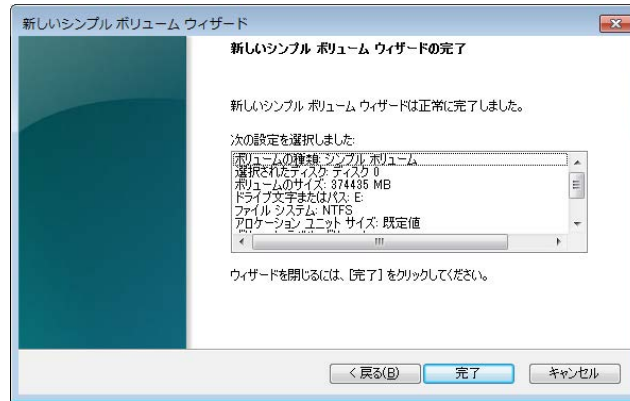
- ⑧ ドライブ文字またはパスの割り当てをする画面が表示されますので、「次のドライブ文字を割り当てる」を選択してドライブ文字を割り当て（変更する必要がない場合は、デフォルトのままでも可） [次へ] ボタンをクリックします。



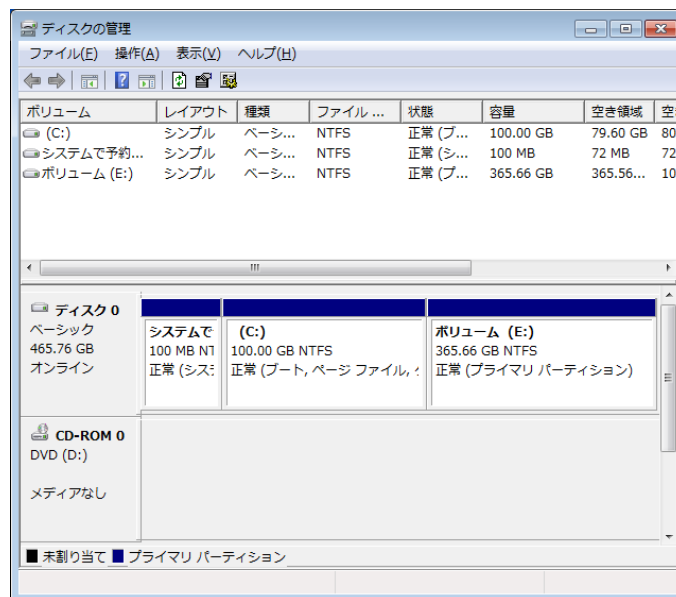
- ⑨ パーティションのフォーマット設定を行う画面が表示されますので、「ファイルシステム」を「NTFS」とし、「ボリュームラベル」に任意のボリュームラベルを入力して [次へ] ボタンをクリックします。



- ⑩ [新しいシンプルボリュームウィザードの完了] 画面が表示されますので [完了] ボタンをクリックします。
- ・ディスクのフォーマットが始まります。



- ⑪ パーティションのフォーマットが完了すると作成したパーティションに「正常」と表示されます。



- ⑫ [ディスクの管理] 画面の [×] ボタンをクリックします。

第2章 Windows XP Modeを導入する場合のセットアップ手順

この章では、初めてWindows XP Modeを導入する場合のセットアップ手順について説明します。

このセットアップは、**Windows XP Mode**を使用する場合にだけ実施してください。

セットアップは、以下の説明を良く読み、手順に従い実施してください。

Windows XP Modeは、Windows® 7で実行できないWindows® XP向けのアプリケーションを動作させるための機能であり、アプリケーションの互換性を確保するための最終手段として位置付けられています。そのため、アプリケーションの互換性の問題を解決ができない場合にだけ使用してください。なお、Windows XP Modeは、すべてのWindows® XP向けアプリケーションの動作を保証するものではありません。

留意事項

このマニュアルで使用する用語について、以下のとおり定義します。

セットアップ：ソフトウェアがコンピュータで使用できるように環境を設定することです。

インストール：ソフトウェアをDVD-ROM、CD-ROM、フロッピーディスクからコンピュータのハードディスクに組み込むことです。

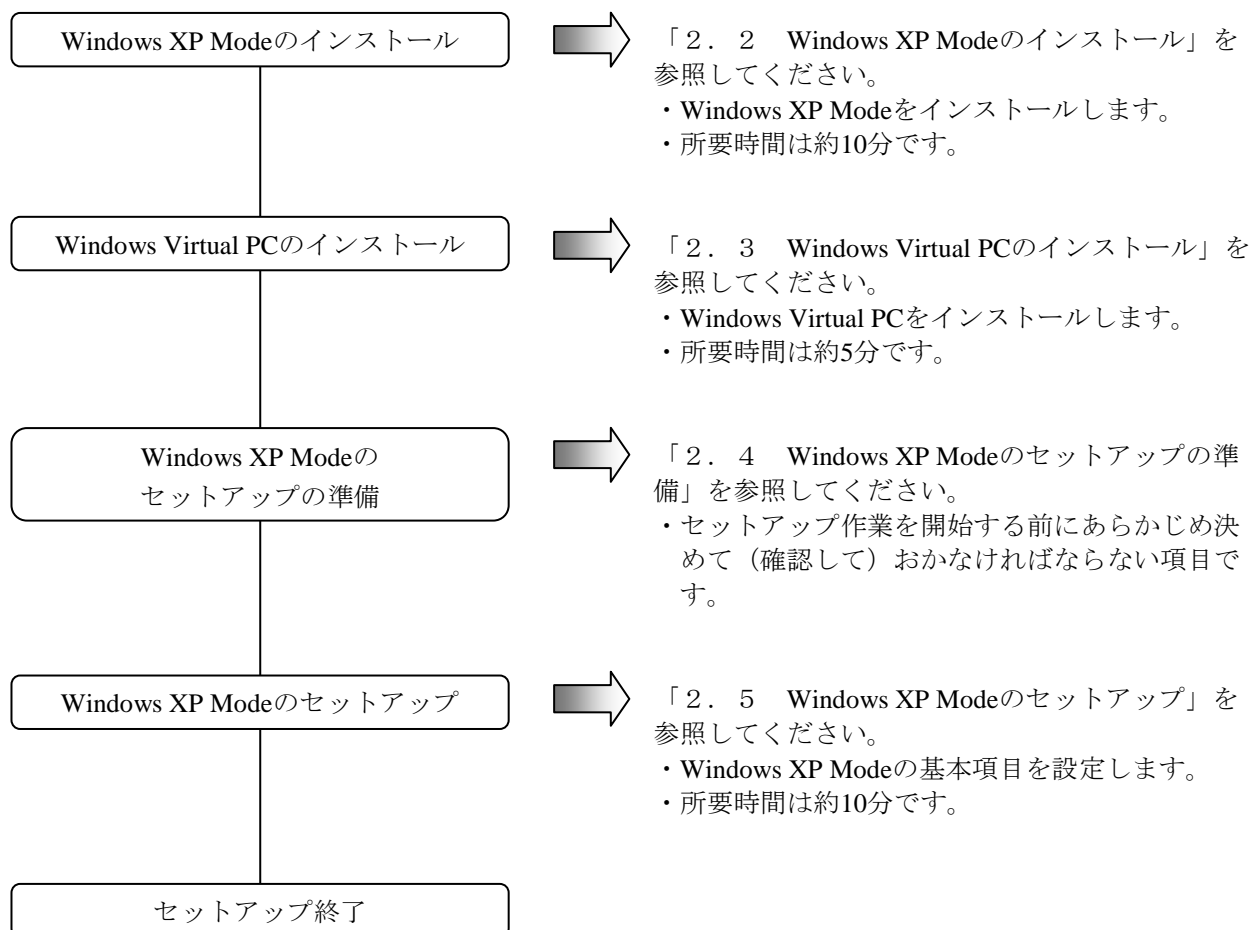
仮想マシン：Virtual PCによって提供される仮想ハードウェア環境です。

ゲストOS：仮想マシン上で動作するオペレーティングシステムです。

2. 1 セットアップ手順の概要

以下に、Windows XP Mode（ゲストOS：Microsoft® Windows® XP Professional）のセットアップ手順を示します。

以下に設定の概略フローを示します。



なお、Windows XP ModeおよびWindows Virtual PCをコンピュータから削除する手順については、「2. 6 Windows XP ModeおよびWindows Virtual PCのアンインストール」を参照してください。

留意事項

Windows XP Modeは、仮想マシン上でMicrosoft® Windows® XP Professional SP3を動作させるため、Windows Virtual PCのインストールが必要になります。

2. 2 Windows XP Modeのインストール

以下の手順でWindows XP Modeをインストールしてください。

- ① コンピュータの管理者アカウントでログオンしていない場合には、コンピュータの管理者アカウントでログオンします。
- ② HF-Wに同梱の「HF-W Windows XP Mode Update DVD For Windows(R) 7 /Japanese」をDVDドライブにセットします。
- ③ インストールプログラムを起動するため、コマンドプロンプトを起動します。
 - ・ [スタート] ボタンをクリックし、 [すべてのプログラム] をポイントします。
 - ・ [アクセサリ] をクリックします。
 - ・ [コマンドプロンプト] を右クリックし、表示されるメニューから [管理者として実行] をクリックします。
(ログオンした管理者アカウントがビルトインAdministratorアカウントである場合は、 [コマンドプロンプト] をクリックします。)
 - ・ [ユーザー アカウント制御] 画面が表示された場合は、 [はい] ボタンをクリックします。



- ④ [コマンドプロンプト] 画面で “D:” と入力して [Enter] キーを押します。
ここでは、DVDドライブをDドライブと仮定していますが、上記下線部にはDVDドライブのドライブ文字を入れてください。
- ⑤ [コマンドプロンプト] 画面で以下を入力して [Enter] キーを押します。インストールを開始します。

```
WXPMode_install.bat
```

- ⑥ インストールが完了すると、完了したことを示す以下のメッセージが表示されます。

```
Installation completed.
```

以上で、インストールは完了です。コマンドプロンプトを終了してください。

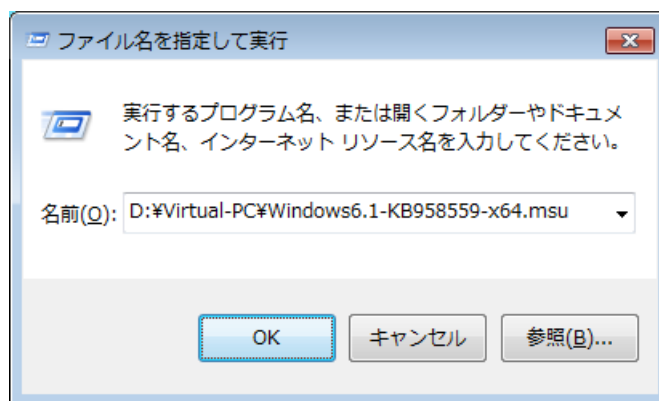
2. 3 Windows Virtual PCのインストール

以下の手順でWindows Virtual PCをインストールしてください。

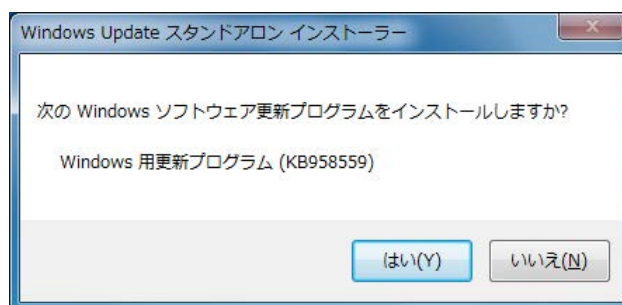
- ① コンピュータの管理者アカウントでログオンしていない場合には、コンピュータの管理者アカウントでログオンします。
- ② HF-Wに同梱の「HF-W Windows XP Mode Update DVD For Windows(R) 7 /Japanese」をDVDドライブにセットします。
- ③ セットアッププログラムを起動します。
 - ・ [スタート] ボタンをクリックし、 [すべてのプログラム] をポイントします。
 - ・ [アクセサリ]、 [ファイル名を指定して実行] の順にクリックします。
 - ・ 名前ボックスに以下を指定して [OK] ボタンをクリックします。

D:¥Virtual-PC¥Windows6.1-KB958559-x64.msu

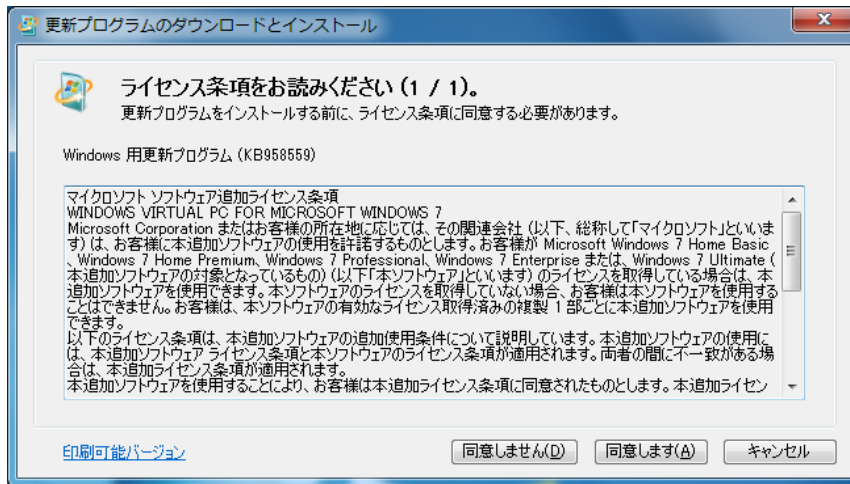
ここでは、DVDドライブをDドライブと仮定していますが、上記下線部にはDVDドライブのドライブ文字を入れてください。



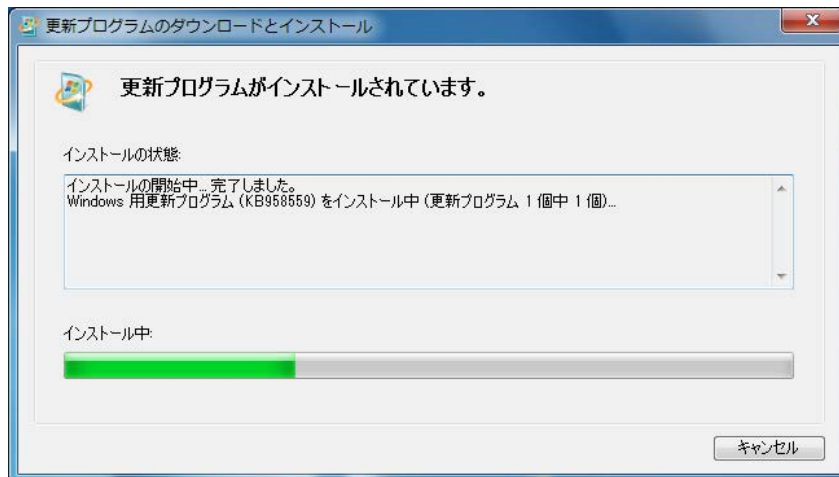
- ④ [Windows Update スタンドアロン インストーラー] 画面が表示されますので、 [はい] ボタンをクリックします。



- ⑤ [更新プログラムのダウンロードとインストール] 画面が表示されますので、ライセンス条項をよく読んでから [同意します] ボタンをクリックします。

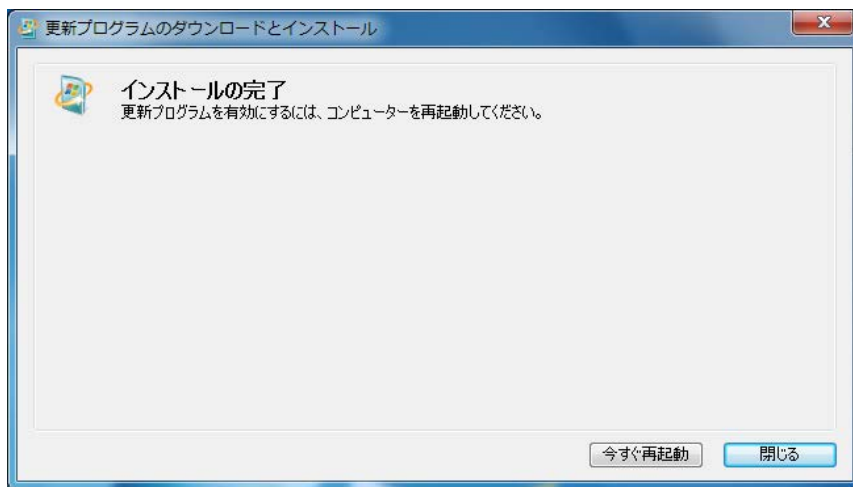


- ⑥ インストール処理を開始します。



第2章 Windows XP Modeを導入する場合のセットアップ手順

- ⑦ インストール完了後、再起動を促す画面が表示されますので、[今すぐ再起動] ボタンをクリックして再起動してください。



2. 4 Windows XP Modeのセットアップの準備

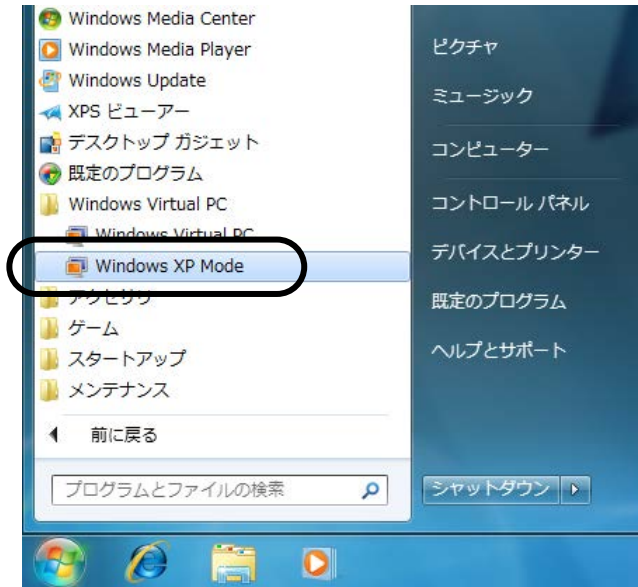
下記の項目は、Windows XP Modeのセットアップ作業中に必要となる項目です。セットアップ作業を開始する前にあらかじめ決めて（確認して）おいてください。

項目	内容
XPMUserのパスワード	XPMUser（コンピュータの管理者アカウント）のパスワード設定後に変更できます。

2. 5 Windows XP Modeのセットアップ

以下の手順でWindows XP Modeをセットアップしてください。

- ① [スタート] ボタンをクリックし、 [すべてのプログラム] をポイントします。
- ② [Windows Virtual PC] 、 [Windows XP Mode] の順にクリックします。

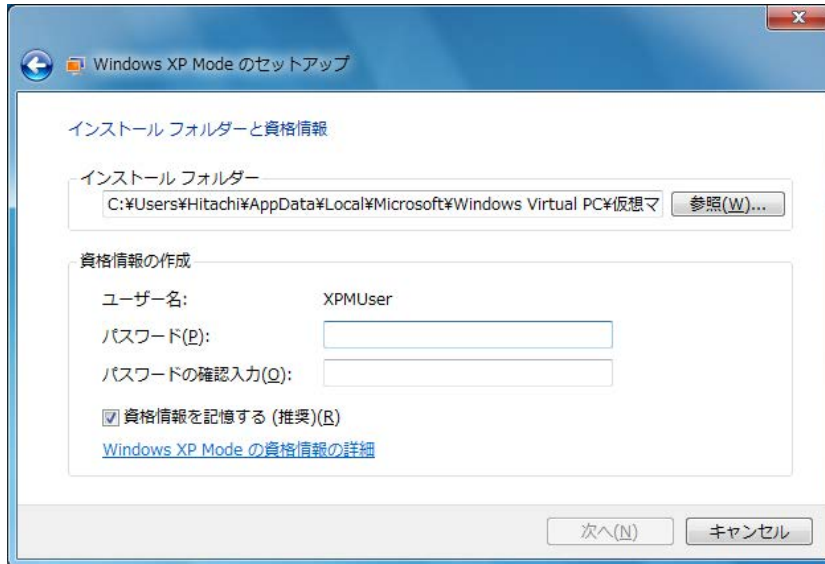


- ③ Windows XP Mode使用許諾契約書が表示されます。

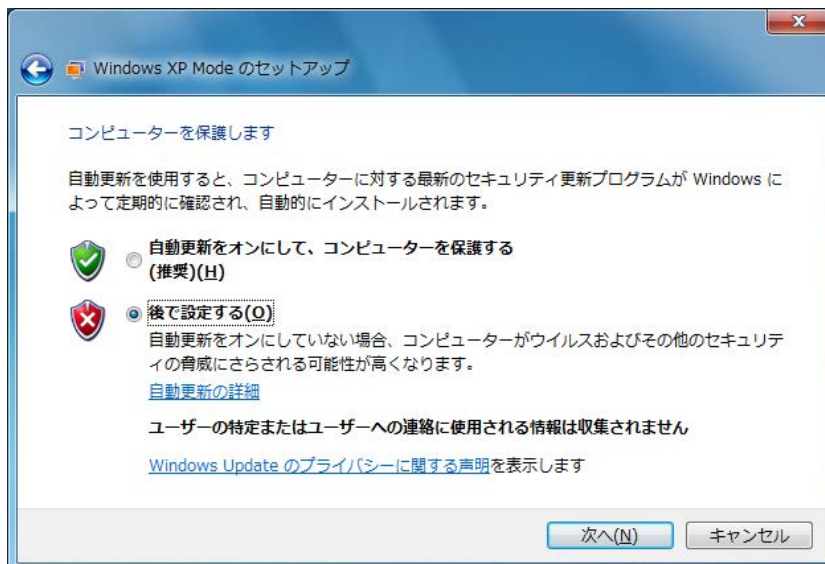
- ・使用許諾契約の内容をよく読んでから「ライセンス条項に同意する」チェックボックスをオンにして、 [次へ] ボタンをクリックします。



- ④ 「インストール フォルダーと資格情報」画面が表示されます。
- ・ [パスワード] および [パスワードの確認入力] にXPMUserのパスワードを入力します。
 - ・ [次へ] ボタンをクリックします。



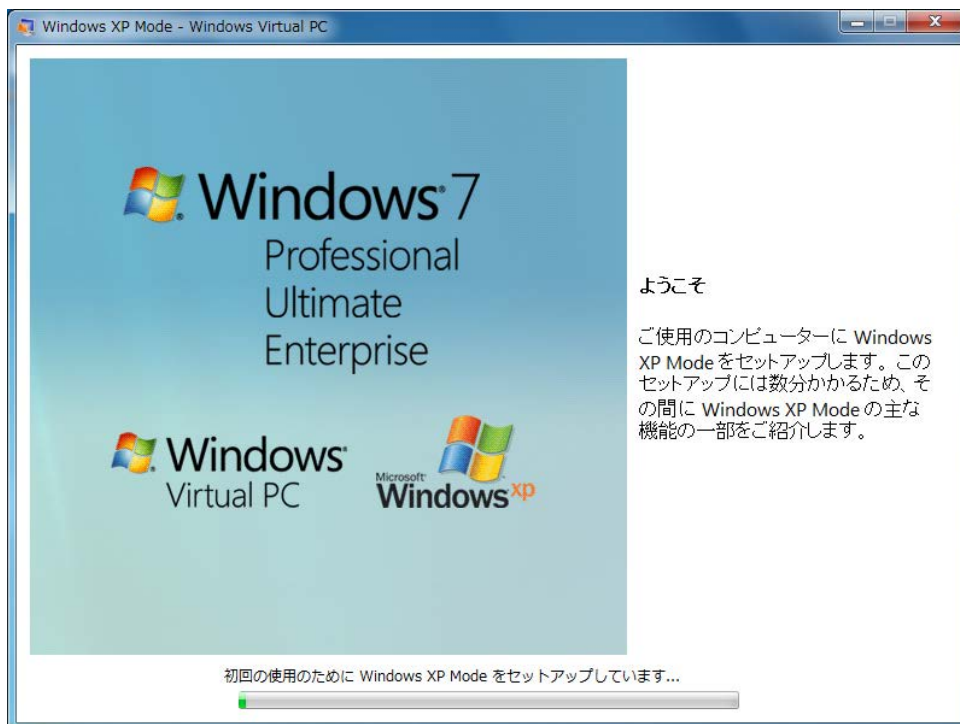
- ⑤ 自動更新の設定画面が表示されます。
- ・ 「後で設定する」を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



- ⑥ ドライブの共有をセットアップする画面が表示されます。
- ・ [セットアップの開始] ボタンをクリックします。



- ⑦ Windows XP Modeのセットアップを行っていることを示す画面が表示されます。



セットアップ終了後、仮想マシンを起動し、自動的にXPMUserでログオンします。

2. 6 Windows XP ModeおよびWindows Virtual PCのアンインストール

Windows XP ModeおよびWindows Virtual PCをコンピュータから削除したい場合は、この節に示す手順に従い、アンインストール作業を行ってください。

留意事項

アンインストール作業を行う前に、動作しているアプリケーションプログラムをすべて終了させてください。

(1) Windows XP Modeのアンインストール

以下の手順でWindows XP Modeをアンインストールしてください。

- ① コンピュータの管理者アカウントでログオンしていない場合には、コンピュータの管理者アカウントでログオンします。
- ② HF-Wに同梱の「HF-W Windows XP Mode Update DVD For Windows(R) 7 /Japanese」をDVDドライブにセットします。
- ③ アンインストールプログラムを起動するため、コマンドプロンプトを起動します。
 - ・ [スタート] ボタンをクリックし、 [すべてのプログラム] をポイントします。
 - ・ [アクセサリ] をクリックします。
 - ・ [コマンドプロンプト] を右クリックし、表示されるメニューから [管理者として実行] をクリックします。

(ログオンした管理者アカウントがビルトインAdministratorアカウントである場合は、 [コマンドプロンプト] をクリックします。)

 - ・ [ユーザー アカウント制御] 画面が表示された場合は、 [はい] ボタンをクリックします。



- ④ [コマンドプロンプト] 画面で "D:" と入力して [Enter] キーを押します。
ここでは、DVDドライブをDドライブと仮定していますが、上記下線部にはDVDドライブのドライブ文字を入れてください。
- ⑤ [コマンドプロンプト] 画面で以下を入力して [Enter] キーを押します。

Windows XP Mode¥WXPMode_uninst.bat

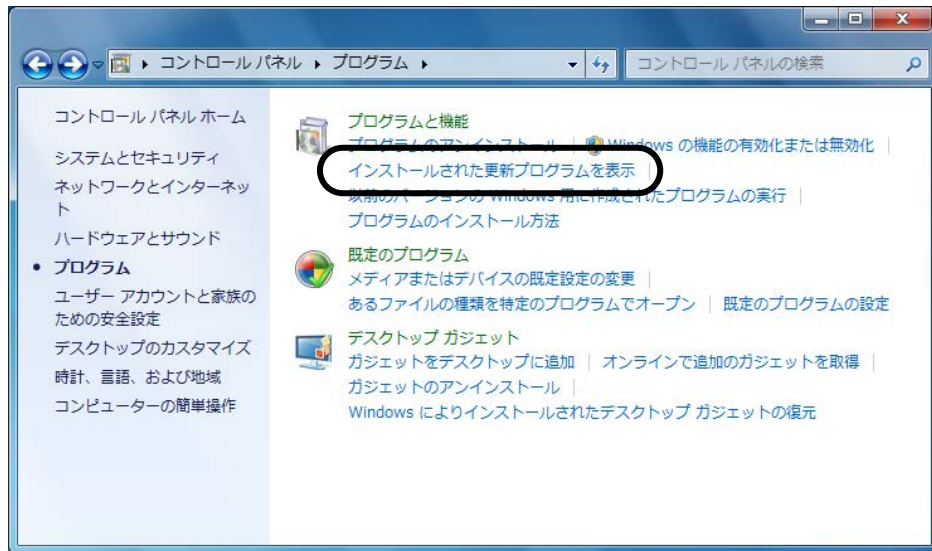
- ⑥ アンインストールの最初に「Do you want to uninstall Windows XP Mode? (y/n) :」とメッセージが表示されます。
- アンインストールを行う場合は、“y”を入力して [Enter] キーを押してください。
- アンインストールを行わない場合は、“n”を入力して [Enter] キーを押してください。アンインストール処理を中断します。
- ⑦ アンインストールが完了すると、完了したことを示す以下のメッセージが表示されます。
- Uninstallation completed.**

以上で、Windows XP Modeのアンインストールは完了です。コマンドプロンプトを終了後、Windows Virtual PCのアンインストールを実施してください。

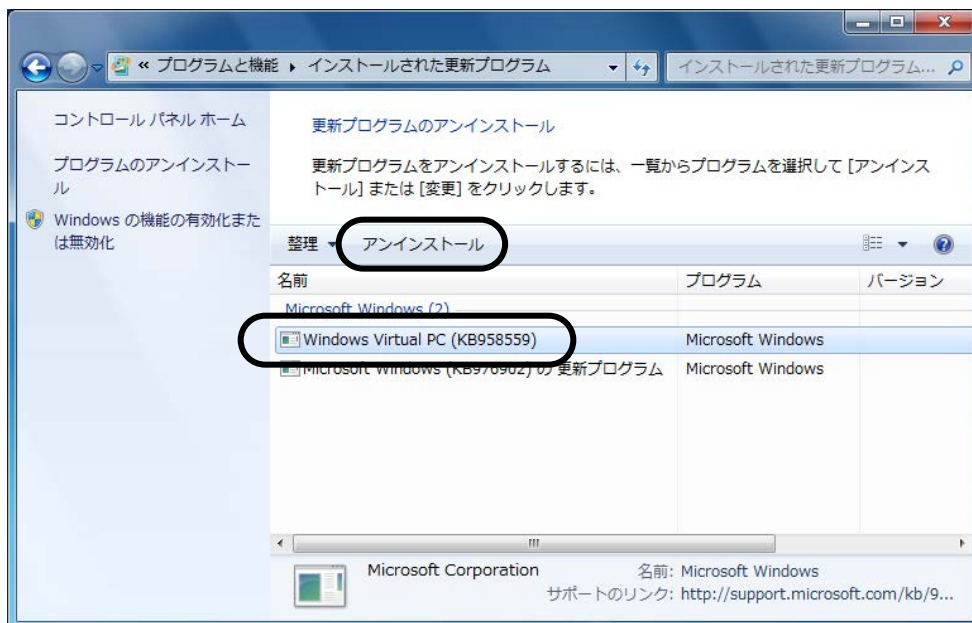
(2) Windows Virtual PCのアンインストール

以下の手順でWindows Virtual PCをアンインストールしてください。

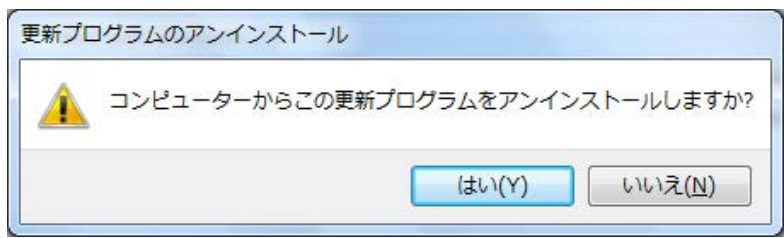
- ① コンピュータの管理者アカウントでログオンしていない場合には、コンピュータの管理者アカウントでログオンします。
- ② [スタート] ボタンをクリックし、[コントロール パネル] をクリックします。
- ③ [プログラム] をクリックします。
- ④ プログラムと機能の [インストールされた更新プログラムを表示] をクリックします。



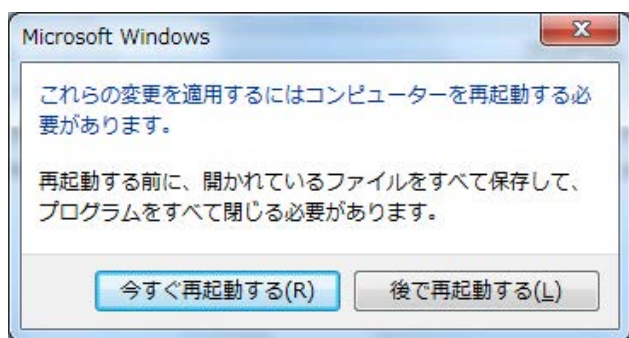
- ⑤ 「インストールされた更新プログラムを表示」画面が表示されますので、一覧から “Windows Virtual PC (KB958559)” を選択して [アンインストール] をクリックします。



- ⑥ [更新プログラムのアンインストール] 画面が表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。



- ⑦ アンインストール完了後、再起動を促す画面が表示されますので、[今すぐ再起動する] ボタンをクリックして再起動してください。



以上で、Windows Virtual PCのアンインストールは完了です。

留意事項

再びWindows XP Modeを導入する場合は、この章の「2. 2 Windows XP Modeのインストール」から「2. 5 Windows XP Modeのセットアップ」を実施してください。このとき、Windows XP Modeのセットアップにおいて以下のダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[新規作成] ボタンをクリックしてください。セットアップ処理が継続します。



第3章 新たにシステムを構築する場合の新規セットアップ手順

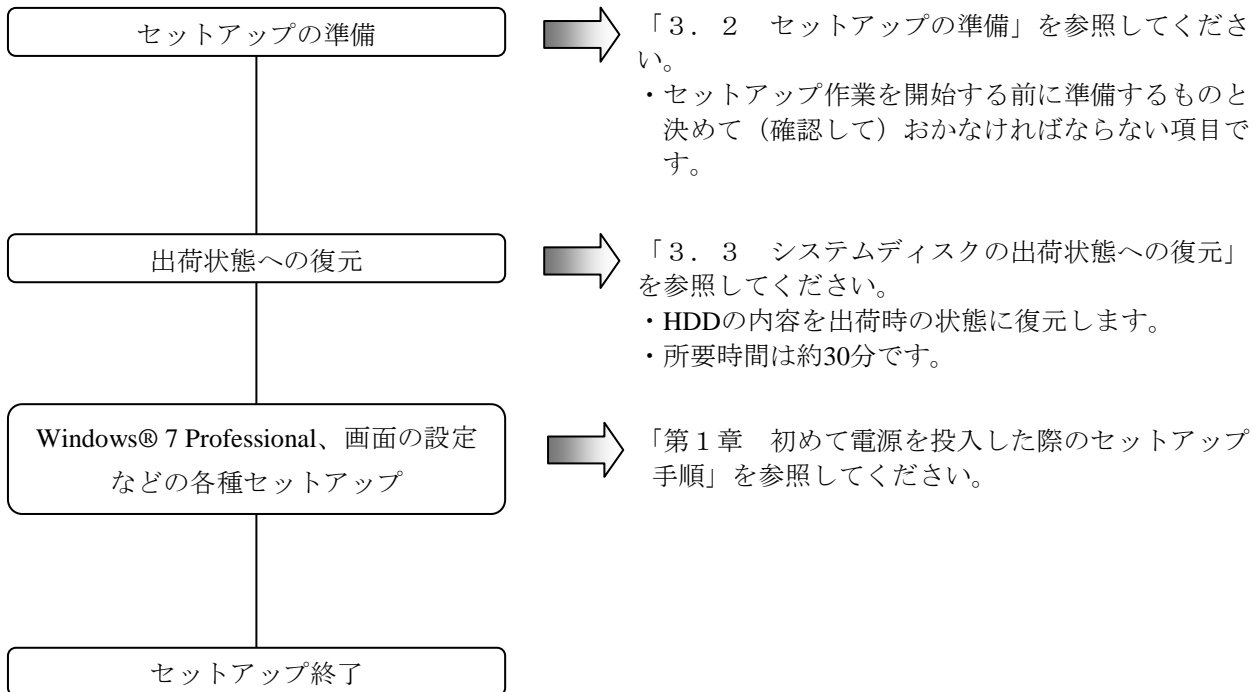
この章では、以下のセットアップ手順について説明します。

- ・構築してあるシステムを破棄して新たにシステムを構築する場合の新規セットアップ手順

3. 1 新規セットアップ手順の概要

この節では、現在構築してあるシステムを破棄して新規にシステムを構築する際の新規セットアップ手順の概要を説明します。リカバリDVD-ROMを使用してシステムディスク（HDDドライブベイ1に搭載されているHDD）の内容を出荷時の状態に復元した後は、「第1章 初めて電源を投入した際のセットアップ手順」に記載の手順に従って、セットアップを実施してください。

以下にセットアップ手順の概略フローを示します。



通 知

リカバリDVD-ROMは、出荷時のハードウェア構成で作成したイメージファイルを保存したDVD-ROMです。そのため、ハードウェア構成が出荷時と異なる場合、復元作業を行ってもオペレーティングシステムが正常に起動しない可能性があります。リカバリDVD-ROMを使用した復元は、外部記憶装置をすべて取り外し、出荷時のハードウェア構成で行ってください。また、リカバリDVD-ROMを使用した場合にはシステムディスクのすべてのデータが消去されますので、必要に応じて事前にバックアップを行ってください。

留意事項

HF-W7500モデル30のAモデル（SATA-HDDモデル）において、HDDドライブベイ2にHDDが搭載された状態でリカバリDVD-ROMを使用して復旧作業を行った場合、DVDドライブのドライブ文字が出荷時と異なることがあります。

このような場合、必要に応じてセットアップ終了後にドライブ文字の変更を行ってください。

3. 2 セットアップの準備

下記の項目は、セットアップ作業中に必要となる項目です。セットアップ作業を開始する前にあらかじめ決めて（確認して）おいてください。

項目	内容
ライセンス証書	HF-W本体にライセンス証書が貼り付いていることを確認してください。
ユーザー名	コンピュータの管理者アカウントのユーザー名 設定後に変更できます。
パスワード	ユーザー名のパスワード 設定後に変更できます。
コンピュータ名称	ネットワークでコンピュータを識別するための名称 ・ネットワーク内でコンピュータを識別するための名称です。ネットワークで固有な名称にしてください。 設定後に変更できます。
ネットワークアドレス	IPアドレスおよびサブネットマスク 設定後に変更できます。

下記は、セットアップ作業開始前にあらかじめ準備しておかなければならないソフトウェアです。これは、HF-Wに同梱していますので、セットアップ作業を開始する前に必ず準備してください。

HF-W専用リカバリ DVD-ROM	HITACHI <u>HJ-75308EWJ</u> * Product Recovery DVD Containing Windows(R) 7 Professional Embedded SP1 (下線部にはご購入頂いたHF-W7500モデル30の型式が記載されています。)
-----------------------	---

3.3 システムディスクの出荷状態への復元

以下の手順に従い、リカバリDVD-ROMを使用してHF-W7500モデル30のシステムディスクを出荷時の状態に復元します。

- ① HF-Wの電源を入れ、HF-Wに同梱の「HITACHI HJ-75308EWJ* Product Recovery DVD」をDVDドライブにセットします（下線部には、ご購入頂いたHF-W7500モデル30の型式が記載されています。以降の手順において同様の記載がされている部分に関しましては、ご購入のHF-W7500モデル30の型式に読み替えてください）。
- ② リカバリDVD-ROMから起動し、以下の認証メッセージが表示されます。

```
*****  
Confirmation  
"HITACHI HJ-75308EWJ* Product Recovery DVD-ROM" is  
only used for HJ-75308EWJ*.  
Is this computer HJ-75308EWJ*?  
*****  
(Yes[y]/No[n]):
```

[n] キーを押した場合は、以下のメッセージが表示され、認証が中断されます。電源スイッチを押し、HF-Wの電源を切ってください。

```
(Yes[y]/No[n]):n  
System recovery process is canceled.
```

- ③ [y] キーを押した場合は、HDD内容の復元開始の確認メッセージが表示されます。

```
*****  
Attention  
This recovery program deletes all personal data and  
your customized configuration settings. It resets  
HJ-75308EWJ* to the factory-shipped default values.  
Be sure to back up your personal files before you use  
this DVD.  
*****  
continue?  
(Yes[y]/No[n]):
```

[n] キーを押した場合は、以下のメッセージが表示され、認証が中断されます。
電源スイッチを押し、HF-Wの電源を切ってください。

```
(Yes[y]/No[n]):n
System recovery process is canceled.
```

- ④ [y] キーを押した場合は、HDD内容を復元するブートパーティション容量変更確認メッセージが表示されます。表示メッセージ内にブートパーティションのデフォルトサイズである出荷時と同じ容量 (NNN) をMB単位 (1MB=1,048,576バイト) で表示します。

```
*****
Attention

This recovery program deletes all personal data and
your customized configuration settings. It resets
HJ-75308EWJ* to the factory-shipped default values.
Be sure to back up your personal files before you use
this DVD.

*****

continue?
(Yes[y]/No[n]):y

Do you change the size of boot partition?
In case of "No", it is set to the default size(NNN).
(Yes[y]/No[n]):
```

[n] キーを押した場合は、出荷時と同じ容量 (NNN) でブートパーティションを復元する確認メッセージが表示されます。

```
(Yes[y]/No[n]):n

Set the boot partition size to NNN MB.

Continue?
(Yes[y]/No[n]):
```

[y] キーを押すとHDD内容の復元が開始され、進捗状況が表示されます (⑥へ)。

[n] キーを押した場合は、以下のメッセージが表示され、ブートパーティション容量変更が中断されます。電源スイッチを押し、HF-Wの電源を切ってください。

```
(Yes[y]/No[n]):n
System recovery process is canceled.
```


- ⑤ HDD内容を復元するブートパーティション容量変更確認メッセージ (④) で [y] キーを押した場合は、HDD内容を復元するブートパーティション容量入力メッセージが表示されます。

```
Do you change the size of boot partition?  
In case of "No", it is set to the default size(NNN).  
(Yes[y]/No[n]):y  
  
Input the size of boot partition by the megabyte[MB] and press ENTER.  
partition size(MIN-MAX[MB]):
```

入力可能な範囲の最小値 (MIN) と最大値 (MAX) を表示しますので、ブートパーティション容量をMB単位で入力し、[Enter] キーを押します。

ブートパーティション容量を入力すると、入力確認メッセージが表示されます。

```
partition size(MIN-MAX[MB]):20000  
  
Set the boot partition size to 20000 MB.  
  
Continue?  
(Yes[y]/No[n]):
```

[y] キーを押すとHDD内容の復元が開始され、進捗状況が表示されます (⑥へ)。

[n] キーを押した場合は、以下のメッセージが表示され、ブートパーティション容量変更が中断されます。電源スイッチを押し、HF-Wの電源を切ってください。

```
(Yes[y]/No[n]):n  
  
System recovery process is canceled.
```

入力可能な範囲外の数値を入力した場合、以下のメッセージが表示されますので、数値を再入力します。

```
Input error.  
  
Input the size of boot partition by the megabyte[MB] and press ENTER.  
partition size(MIN-MAX[MB]):
```

- ⑥ [y] キーを押した場合は、HDD内容の復元が開始され、進捗状況が表示されます。

```
HJ-75308EWJ* system recovery START.  
xx%
```

- ⑦ リカバリDVD-ROMによるHDD内容の復元がすべて完了すると、以下のメッセージが表示されます。リカバリDVD-ROMをDVDドライブから取り出します。

```
HJ-75308EWJ* system recovery CONTINUE.  
100%  
  
COMPLETED.  
  
Remove "HITACHI HJ-75308EWJ* Product Recovery DVD-ROM"  
from the DVD-ROM drive and restart HJ-75308EWJ*.
```

- ⑧ 電源スイッチを押してHF-Wの電源を切り、再びHF-Wの電源スイッチを押して電源を入れます。

第3章 新たにシステムを構築する場合の新規セットアップ手順

3.4 Windows® 7 Professional、画面の設定などの各種セットアップ

リカバリDVD-ROMによって、HF-W7500モデル30のシステムディスクは出荷時の状態に復元されました。これ以降は「第1章 初めて電源を投入した際のセットアップ手順」に記載の手順に従い、セットアップを実施してください。

第4章 注意事項

4. 1 第3者ブランド名での製品出荷について

機器に組み込むなどによって、この製品を弊社の装置名以外で販売される場合には、弊社に対し、その装置名の届け出をしていただく必要があります。なお、届け出は最終使用者への出荷開始後でもかまいません。弊社営業担当までご連絡ください。

このページは白紙です。